

# 令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果分析

【小学校 国語】

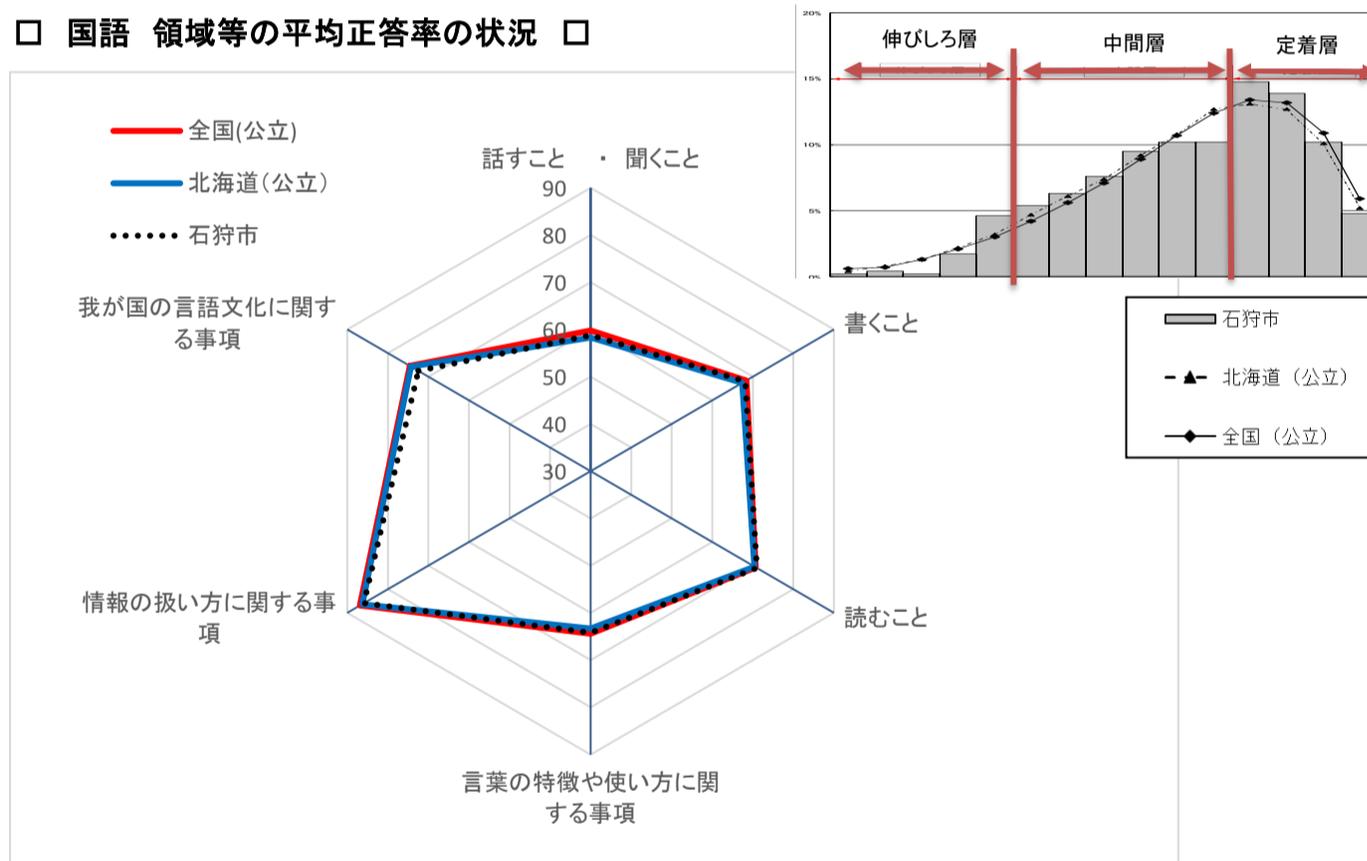
## □ 正答率の状況 □

	国語	
	平均正答数	平均正答率
全国(公立)	9.5問/14問	67.7%
全道(公立)	9.3問/14問	67%

全国との比較	相当低い	低い	やや低い	ほぼ同様(下位)	同様	ほぼ同様(上位)	やや高い	高い	相当高い
石狩市					○				

相当高い … 7ポイント以上の範囲	ほぼ同様(下位) … -1ポイント以下-3ポイント未満の範囲内
高い … 5ポイント以上7ポイント未満の範囲内	やや低い … -3ポイント以下-5ポイント未満の範囲内
やや高い … 3ポイント以上5ポイント未満の範囲内	低い … -5ポイント以下-7ポイント未満の範囲内
ほぼ同様(上位) … 1ポイント以上3ポイント未満の範囲内	相当低い … -7ポイント以下の範囲
同様 … ±1ポイント未満の範囲内	

## □ 国語 領域等の平均正答率の状況 □



## □ 国語科の概要 □

- ◇ 国語の正答率は全国・全道との比較では、ともに同様の結果でした。令和5年度との比較では、正答率がやや低下しました。
- ◇ 領域別では、「話すこと・聞くこと」は全国とほぼ同様(下位)、全道と同様であり、「書くこと」と「読むこと」の領域では全国・全道と同様の結果でした。また、「言葉の特徴や使い方に関する事項」も全国・全道と同様であり、「情報の扱い方に関する事項」では、全国とほぼ同様(下位)、全道と同様の結果でした。
- ◇ 問題形式別の正答率では、「選択式」は全国とほぼ同様(下位)、全道と同様、「短答式」は全国とほぼ同様(上位)、全道よりやや高い結果でした。また、「記述式」は全国・全道とほぼ同様(上位)の結果となりました。

## 国語

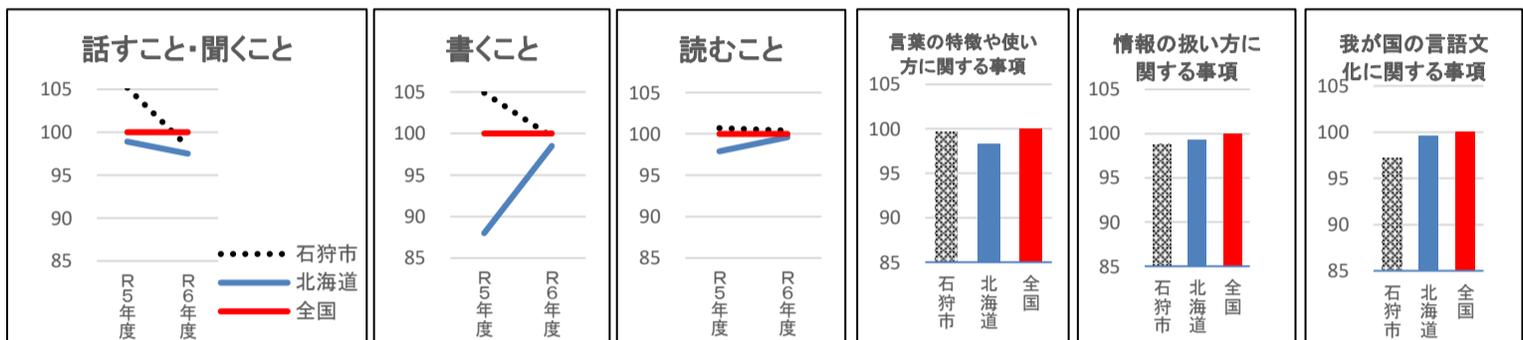
### ○調査問題の内容

学習指導要領に示されている〔知識及び技能〕、〔思考力、判断力、表現力等〕の内容に基づき、全体を視野に入れながら中心的に取り上げるものを精選して出題されています。なお、小学校第5学年までの内容となっています。

(例)

- オンラインで交流する場面における話し方の工夫として適切なものを選択する。
- 学校のよさを紹介する文章の空欄に入れる内容を取材メモを基にして書く。
- 物語の一文の中の「かがやいています」の主語として適切なものを選択する。
- 物語を読んで、心に残ったところとその理由を書く。
- 設問数は14問です。

【各領域の傾向】 ◎グラフは全国を100とした前回調査との比較（但し、言葉の特徴や使い方に関する事項、情報の扱い方に関する事項、我が国の言語文化に関する事項は、本年度のみ）



- ・「話すこと・聞くこと」の領域は、全国とほぼ同様（下位）、全道と同様の傾向を示しています。
- ・「書くこと」の領域は、全国・全道と同様の傾向を示しています。
- ・「読むこと」の領域は、全国・全道と同様の傾向を示しています。
- ・「言葉の特徴や使い方に関する事項」は、全国・全道と同様の傾向を示しています。
- ・「情報の扱い方に関する事項」は、全国とほぼ同様（下位）、全道と同様の傾向を示しています。
- ・「我が国の言語文化に関する事項」は、全国・全道とほぼ同様（下位）の傾向を示しています。

### 【成果の見られる問題例】

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
2一(2)	【高山さんのメモ】の書き表し方を説明したものとして、適切なものを選択する	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる	情報の扱い方に関する事項	85.9%	86.3%	86.9%
2一(1)	高山さんが文章を書くことを決めるために、どのように考えたのかについて説明したものとして、適切なものを選択する	目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる	書くこと	78.7%	79.3%	80.3%
2三イ	【高山さんの文章】の下線部イを、漢字を使って書き直す(なげる)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる	言葉の特徴や使い方に関する事項	76.1%	74.0%	76.0%

### 【全国平均と差がある問題例】

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全国正答率	全国との差
1三	オンラインで交流する場面において、【和田さんのメモ】がどのように役立ったのかを説明したものとして、適切なものを選択する	目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる	話すこと・聞くこと	61.0%	63.8%	-2.8%
3一	【物語】の一文の中の「かがやいています」の主語として適切なものを選択する	文の中における主語と述語との関係を捉えることができるかどうかをみる	言葉の特徴や使い方に関する事項	55.5%	62.3%	-6.8%
3四	【原さんの読書の記録】の空欄に入る内容として適切なものを選択する	日常的に読書に親しみ、読書が自分の考えを広げることに関心を持てるかどうかをみる	我が国の言語文化に関する事項	72.5%	74.6%	-2.1%

**【指導の改善にあたって】**

**【問題番号1三 話すこと・聞くこと】**

- 伝え合う内容を検討する際には、聞いたり話し合ったりすることを具体的に考え、関係する材料を整理しておくことが重要です。
- ・学習指導に当たっては、伝え合う内容を検討する際に、自分が伝えたいことと聞き手の求めていることに応じて情報を整理するよう指導するとともに、本設問のように、学習活動を振り返る場面を設定し、情報を整理することのよさを考えることができるようにすることが大切です。

**【問題番号3一 言葉の特徴や使い方に関する事項】**

- 文の中における主語と述語の関係を捉えることが大切です。
- ・主語と述語との関係について、低学年から繰り返し指導することが大切です。学習指導に当たっては、日常的に主語が何かを意識して文章を読んだり書いたりすることが重要です。その際、「～が」、「～は」、「～も」のように主語の表し方は様々にあることや、主語と述語が離れて表されている場合があることに留意して指導することが大切です。

**【問題番号3四 我が国の言語文化に関する事項】**

- 日常的に読書に親しみ、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気付くためには、本などの中の言葉から自分を支える言葉を見付けたり、今までになかった考えを発見したりすることなどによって、読書の意義をより強く実感できるようにすることが大切です。
- ・学習指導に当たっては、国語科における、「読むこと」の学習との関連を意識して読書活動の年間指導計画を立て、「朝の読書活動」や「読書の記録」等の取組を通して、日常的に読書に親しむことができるようにすることが大切です。

**【教科（国語）に関する意識（児童質問紙項目42～49、国1より）】**

	質問内容	肯定的な回答 石狩市	肯定的な回答 全国	全国との 差
(42)	「国語の勉強は好きですか」	66.0%	62.0%	4.0%
(43)	「国語の勉強は大切だと思いますか」	96.1%	94.5%	1.6%
(44)	「国語の授業内容はよくわかりますか」	88.8%	86.3%	2.5%
(45)	「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」	96.2%	93.2%	3.0%
(46)	「国語の授業で、違う点や似ている点を意識したり、図で示したりしながら、情報を整理していますか」	81.4%	78.3%	3.1%
(47)	「国語の授業で、目的に応じて、話すために集めた材料を、いくつかのまとまりに分けたり結び付けたりしながら、伝える内容を考えていますか」	85.2%	80.0%	5.2%
(48)	「国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書いていますか」	86.2%	83.2%	3.0%
(49)	「国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目していますか」	88.0%	84.4%	3.6%
(国1)	「今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか」について、「最後まで努力した」と回答	89.2%	79.1%	10.1%
	2問あった記述式問題の無解答率の平均	4.8%	6.8%	-2.0%

# 令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果分析

【小学校 算数】

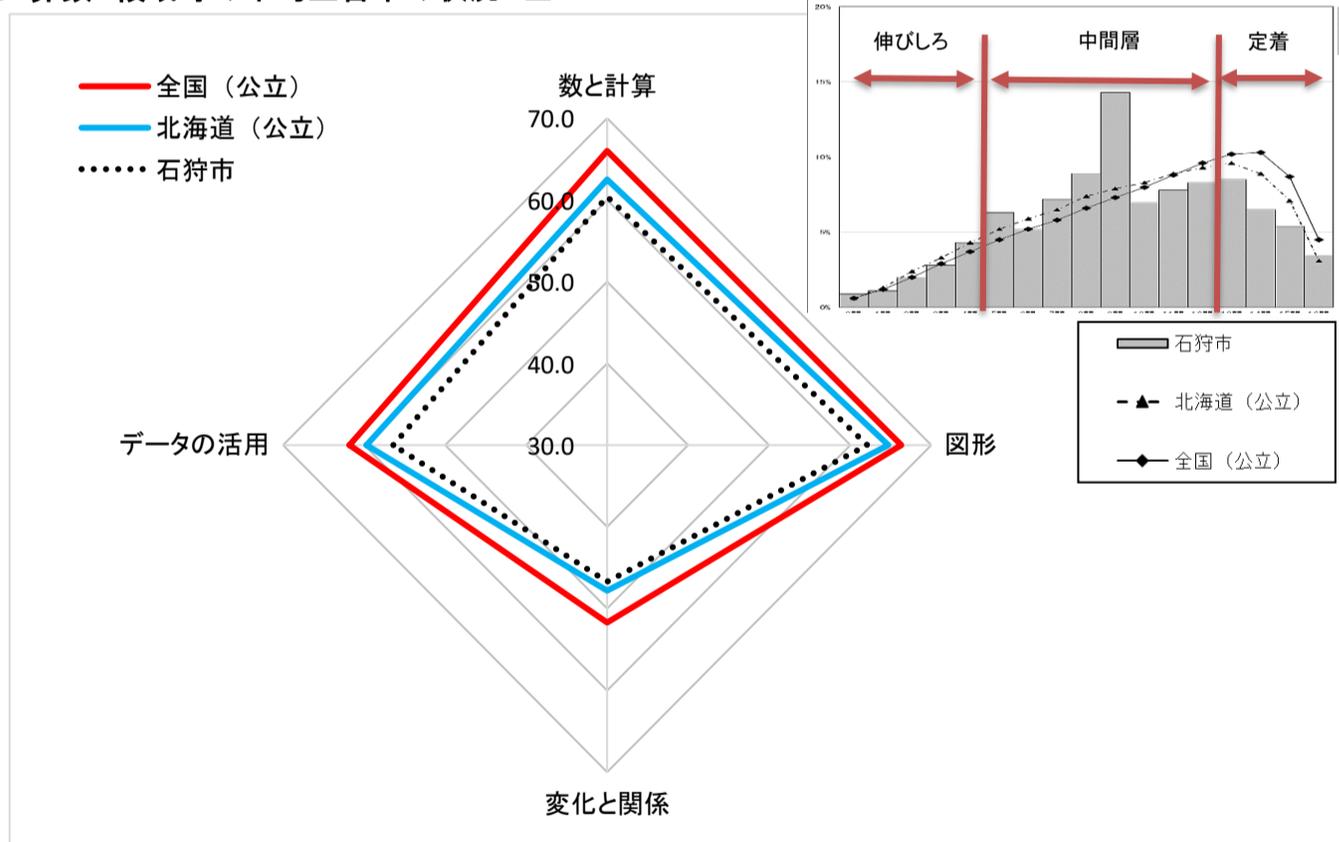
## □ 正答率の状況 □

	算数	
	平均正答数	平均正答率
全国(公立)	10.1問/16問	63.4%
全道(公立)	9.7問/16問	61%

全国との比較	相当低い	低い	やや低い	ほぼ同様(下位)	同様	ほぼ同様(上位)	やや高い	高い	相当高い
石狩市			○						

相当高い … 7ポイント以上の範囲	ほぼ同様(下位) … -1ポイント以下-3ポイント未満の範囲内
高い … 5ポイント以上7ポイント未満の範囲内	やや低い … -3ポイント以下-5ポイント未満の範囲内
やや高い … 3ポイント以上5ポイント未満の範囲内	低い … -5ポイント以下-7ポイント未満の範囲内
ほぼ同様(上位) … 1ポイント以上3ポイント未満の範囲内	相当低い … -7ポイント以下の範囲
同様 … ±1ポイント未満の範囲内	

## □ 算数 領域等の平均正答率の状況 □



## □ 算数科の概要 □

◇算数の平均正答率は、全国よりやや低く、全道とほぼ同様（下位）の結果でした。令和5年度との比較では、全国との差が広がりました。

◇領域別では、「数と計算」では全国より低く、全道とほぼ同様（下位）、「図形」では全国よりやや低く、全道とほぼ同様（下位）の結果でした。また、「変化と関係」では全国より低く、全道とほぼ同様（下位）、「データの活用」では、全国より低く、全道よりやや低い結果でした。

◇問題形式の正答率では、「選択式」で全国より低く、全道よりやや低い、「短答式」は全国より低く、全道とほぼ同様（下位）の結果でした。また、「記述式」は全国とほぼ同様（下位）、全道と同様の結果でした。

# 算数

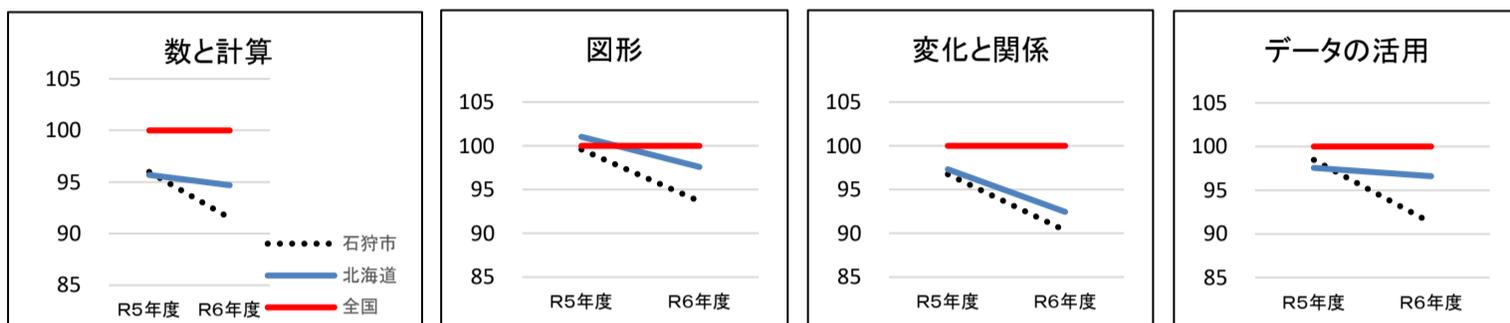
## ○調査問題の内容

学習指導要領における「数と計算」、「図形」、「測定」、「変化と関係」、「データの活用」の各領域に示された指導内容をバランスよく出題しています。なお、小学校第5学年までの内容となっています。

(例)

- 問題場面の数量関係を捉え、持っている折り紙の枚数を求める式を選ぶ。
- 円柱の展開図について、側面の長方形の横の長さが適切なものを選ぶ。
- 家から図書館までの自転車の速さが分速何mかを書く。
- 折れ線グラフから、開花日の月について、3月の回数と4月の回数の違いが最も大きい年代を読み取り、その年代について3月の回数と4月の回数の違いを書く。
- 設問数は16問です。

### 【各領域の傾向】 ◎グラフは全国を100とした前回調査との比較



- ・「数と計算」の領域は、全国より低く、全道とほぼ同様（下位）の傾向を示しています。
- ・「図形」の領域は、全国よりやや低く、全道とほぼ同様（下位）の傾向を示しています。
- ・「変化と関係」の領域は、全国より低く、全道とほぼ同様（下位）の傾向を示しています。
- ・「データの活用」の領域は、全国より低く、全道よりやや低い傾向を示しています。

### 【成果の見られる問題例】

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
1 (2)	はじめに持っていた折り紙の枚数を□枚としたときの、問題場面を表す式を選ぶ	数量の関係を、□を用いた式に表すことができるかどうかをみる	数と計算	85.7%	87.9%	88.5%
3 (1)	作成途中の直方体の見取図について、辺として正しいものを選ぶ	直方体の見取図について理解し、かくことができるかどうかをみる	図形	84.8%	84.2%	85.5%
5 (1)	円グラフから、2023年度の桜の開花日について、4月の割合を読み取って書く	円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ることができるかどうかをみる	データの活用	78.3%	78.6%	80.8%

### 【全国平均と差がある問題例】

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全国正答率	全国との差
2 (2)	除数が1/10になったときの商の大きさについて、正しいものを選ぶ	除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさの関係について理解しているかどうかをみる	数と計算	59.3%	69.1%	-9.8%
3 (3)	直径22cmのボールがぴったり入る箱の体積を求める式を書く	球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができるかどうかをみる	図形	26.7%	36.5%	-9.8%

4 (4)	家から図書館までの自転車の速さが分速何mかを書く	速さの意味について理解しているかどうかをみる	変化と関係	44.8%	54.1%	-9.3%
5 (4)	示された桜の開花予想日の求め方を基に、開花予想日を求める式を選び、開花予想日を書く	示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断できるかどうかをみる	数と計算、データの活用	38.7%	49.3%	-10.6%

【指導の改善にあたって】

【問題番号2 (2) 数と計算】

- 計算に関して成り立つ性質を活用して、計算を工夫できるようにすることが大切です。
- ・ 問題文から与えられた条件を整理し、図や式を用いて場面と関連付けて理解できるようにすることが大切です。さらに、答えの求め方について、筋道を立てて説明できるようにすることも大切です。

【問題番号3 (3) 図形】

- 図形を構成する要素を見だし、それらを活用して体積を求めることができるようにすることが大切です。
- ・ 身の回りの形から図形を捉え、図形を構成する要素を見だし、体積を求めるために必要な情報を判断できるようにすることが大切です。

【問題番号4 (4) 変化と関係】

- 二つの数量の関係に着目し、速さなどの単位量当たりの大きさの意味及び表し方について理解できるようにすることが大切です。
- ・ 道のりと時間が比例の関係にあることに着目して、速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方について理解できるようにすることが重要です。

【問題番号5 (4) 数と計算・データの活用】

- 問題を解決する過程やその結果を式に表すことができるようにすることが大切です。
- ・ 日常生活の問題を解決するために、必要な数値を用いて処理したり、その結果を式に表したりすることができるようにすることが重要です。

【教科（算数）に関する意識（児童質問紙項目50～57、算1より）】

質問内容		肯定的な回答 石狩市	肯定的な回答 全国	全国との 差
(50)	「算数の勉強は好きですか」	60.5%	61.0%	-0.5%
(51)	「算数の勉強は大切だと思いますか」	94.9%	94.6%	0.3%
(52)	「算数の授業の内容はよくわかりますか」	81.5%	82.1%	-0.6%
(53)	「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」	94.0%	94.1%	-0.1%
(54)	「算数の授業で、違う点や似ている点を意識したり、図で示したりしながら、情報を整理していますか」	79.7%	77.9%	1.8%
(55)	「算数の問題の解き方が分からない時は、あきらめずにいろいろな方法を考えますか」	86.0%	83.3%	2.7%
(56)	「算数の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか」	68.1%	63.6%	4.5%
(57)	「算数の授業で学習したことを、今後の学習で活用しようとしていますか」	87.5%	84.6%	2.9%
(算1)	「今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか」について、「最後まで努力した」と回答	85.3%	78.7%	6.6%
	4問あった記述式問題の無解答率の平均	4.0%	5.1%	-1.1%